

9 海洋

漂着物班



～活動目的～

○三陸沿岸域に流れ着く漂着物を回収し、その種類と傾向を他地域のデータと比較して調べる

～活動内容～

- ★月に1度大槌町の吉里吉里海岸に行き、自然物（動植物由来）と人工物を回収しました
- ★回収後は研究室に持ち帰り、種類ごとに分類して重量や個数を記録しました

～作業工程～

- ①漂着物の回収は、10m×10mの調査枠を設置し、これを3枠分おこなう（陸地側に調査枠をずらしていく）
- ②研究室では、漂着物を水洗いして砂を落とし乾燥させる。その後、海藻類・アマモ類・陸上植物類・動物遺骸・人工物に分類して必要なデータを記録する

